

I. 調査研究の目的及び方法

1. 調査研究の目的

保育所のみならず、家庭における食事の状況及び傾向を調査することにより、保育所における食育のより良い実践のあり方を究明することを目的とする。

2. 調査研究の内容

次の項目等について調査研究を実施した。

調査票による調査研究（分析と考察）

- ・ 保育所に通所する平日のお子様の平均的な生活リズム等について
 - 子どもは普段何時ごろ寝るか
 - 子どもの寝るときの状態は
 - 子どもは普段何時ごろ起きるか
 - 子どもは普段自分で起きるか
 - 子どもは何時ごろ保育所に行くか
 - 子どもは何時ごろ家に帰るか
 - 土、日曜日と平日とでは、起床・就寝時刻・生活リズムが異なるか
 - 子どもは何か習い事やスポーツ教室などに通っているか
 - 子どもは天気の良い休日には、外でどのくらい遊ぶか
 - 平日、子どもと過ごす時間（寝ている時間を除く）はどのくらいか
- ・ お子様の生活習慣について
 - 家ではいつ歯を磨くか
 - 排便時間
- ・ お子様の食事について
 - 朝食は、多くの場合、誰と一緒に食べるか
 - 夕食は、多くの場合、誰と一緒に食べるか
 - 朝食の主食はどのようなものか
 - 朝食の主菜はどのようなものか
 - 朝食の副菜（野菜料理）はどのようなものか

朝食の汁物はどのようなものか

朝食に飲料・菓子・果物を食べたか

夕食の主食はどのようなものか

夕食の主菜はどのようなものか

夕食の副菜（野菜料理）はどのようなものか

夕食の汁物はどのようなものか

夕食に飲料・菓子・果物を食べたか

子どもと一緒に外食をすることがあるか

帰宅後の夕食まで時間があくときは、何か与えているか

帰宅後の夕食まで時間があくときは、どのようなものを与えているか

子どもの食材を選ぶ際、どのような点に気をを使うか

子どもの食事を作る時にどのように工夫しているか

子どもの食事への関心を持たせるよう、工夫していること

保育園からの情報は家庭の食育の参考になっているか

・地域性との関連について（クロス集計）

子どもは普段、何時ごろに寝るか〈生活リズムとの関連〉

子どもは普段、何時ごろに起きるか〈生活リズムとの関連〉

子どもは何時ごろ、保育所に行くか〈生活リズムとの関連〉

子どもは何時ごろ、家に帰るか〈生活リズムとの関連〉

子どもは天気のよい休日には、外でどのくらい遊ぶか〈生活リズムとの関連〉

平日、子どもと過ごす時間（寝ている時間を除く）はどのくらいか〈生活リズムとの関連〉

朝食の主食はどのようなものか〈食事との関連〉

朝食の主菜はどのようなものか〈食事との関連〉

朝食の副菜（野菜料理）はどのようなものか〈食事との関連〉

朝食の汁物はどのようなものか〈食事との関連〉

朝食に飲料・菓子・果物を食べたか〈食事との関連〉

夕食の主食はどのようなものか〈食事との関連〉

夕食の主菜はどのようなものか〈食事との関連〉

夕食の副菜（野菜料理）はどのようなものか〈食事との関連〉

夕食の汁物はどのようなものか〈食事との関連〉

夕食に飲料・菓子・果物を食べたか〈食事との関連〉

・就寝時刻との関連について（クロス集計）

- 子どもは普段、何時ごろに起きるか〈就寝時間との関連〉
- 子どもは普段、自分で起きるか〈就寝時間との関連〉
- 子どもは何時ごろ、家に帰るか〈就寝時間との関連〉
- 平日、子どもと過ごす時間（寝ている時間を除く）はどのくらいか〈就寝時間との関連〉
- 家ではいつ歯を磨くか〈就寝時間との関連〉
- 排便時間〈就寝時間との関連〉
- 朝食は、多くの場合、誰と一緒に食べるか〈就寝時間との関連〉
- 夕食は、多くの場合、誰と一緒に食べるか〈就寝時間との関連〉
- 朝食の主食はどのようなものか〈就寝時間との関連〉
- 夕食の主食はどのようなものか〈就寝時間との関連〉
- ・自律起床の有無と食事内容の関連について（クロス集計）
 - 朝食の主食はどのようなものか〈自律起床との関連〉
 - 朝食の主菜はどのようなものか〈自律起床との関連〉
 - 朝食の副菜（野菜料理）はどのようなものか〈自律起床との関連〉
 - 朝食の汁物はどのようなものか〈自律起床との関連〉
 - 朝食に飲料・菓子・果物を食べたか〈自律起床との関連〉
 - 夕食の主食はどのようなものか〈自律起床との関連〉
 - 夕食の主菜はどのようなものか〈自律起床との関連〉
 - 夕食の副菜（野菜料理）はどのようなものか〈自律起床との関連〉
 - 夕食の汁物はどのようなものか〈自律起床との関連〉
 - 夕食に飲料・菓子・果物を食べたか〈自律起床との関連〉

3. 調査研究スタッフ

- 藤 沢 良 知 （武蔵丘短期大学学長）
- 巷 野 悟 郎 （こどもの城小児保健クリニック小児科医）
- 酒 井 治 子 （東京家政学院大学准教授）
- 高 橋 保 子 （村山中藤保育園「白樺」園長）
- 豊 永 せつ子 （のぞみ愛児園園長）
- 太 田 百合子 （こどもの城小児保健部管理栄養士）

4. 調査期間及び調査時点

・調査票による調査

自 平成20年 8 月 7 日

至 平成20年 9 月30日

(調査時点・平成20年 8 月 1 日現在)

5. 調査の手続き

ア 調査対象保育所の選定

調査対象は、日頃から食育活動を積極的に行っている20か所の保育所を選定した。

なお、20か所の保育所については下記のとおりである。

地域区分	No.	保育園名	所在地	所在市人口(人)*
北海道・東北地区	1	札幌北野保育園	北海道 札幌市	1,880,138
	2	澄川ひろのぶ保育園	北海道 札幌市	1,880,138
	3	古間木保育園	青森県 三沢市	43,176
	4	いなり保育園	岩手県 久慈市	39,009
	5	キンダー保育園	山形県 山形市	250,348
	6	東田保育園	福島県 いわき市	354,364
関東地区	7	こざくら保育園	埼玉県 本庄市	79,615
	8	村山中藤保育園「白樺」	東京都 武蔵村山市	68,728
	9	亀井野保育園	神奈川県 藤沢市	399,435
	10	和泉愛児園	山梨県 甲府市	193,388
北信越地区	11	北陽保育園	新潟県 三条市	106,052
	12	ひろた保育園	富山県 富山市	417,282
東海地区	13	竜南保育園	静岡県 静岡市	710,854
近畿地区	14	槇塚台保育園	大阪府 堺市	833,694
中国・四国地区	15	勝山保育園	山口県 下関市	285,758
	16	川西保育園	山口県 岩国市	148,800
	17	飯岡保育園	愛媛県 西条市	115,280
九州地区	18	のぞみ愛児園	福岡県 大野城市	94,072
	19	合志中部保育園	熊本県 合志市	54,163
	20	愛心保育園	沖縄県 那覇市	312,692

*平成20年3月31日現在の住民基本台帳人口によるものである。

イ 調査方法

前項アで選定した調査対象保育所に対して、調査票を送付し、保育所において満2～6歳の入所児童の保護者50名（世帯）に調査票を配布していただき、その保護者に記入をお願いした。

回答者は母親968人で96.8%と大半を占めた。その他には、父親が26人で2.6%、祖母が6人で0.6%であった。

ウ 調査票の回収数及び回収率（集計対象）

項 目		か 所 数 及 び 回 収 率
調査票配布ならびに回収保育所数		20
調 査 票 回 収 数 (率)		1,000 (100.0%)
内 訳	有 効 調 査 回 答 数 (率)	985 (98.5%)
	無 効 調 査 回 答 数 (率)	15 (1.5%)

6. 整理分析担当

調査票の集計、整理、分析、まとめには、調査研究スタッフ全員が当たった。